



吉田海運ロジソリューションズ 株式会社



冷凍自動倉庫を備える小郡第一センター

- 本社所在地：長崎県佐世保市
- 事業概要：九州を中心に運輸・倉庫などの物流サービスを提供
- 常時使用する従業員：715名（2024年8月期）
- 現在の売上高：61億円（2024年8月期）
- 法人番号：1310005003998
- Web： <https://www.yoshida-kaiun.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
吉田 康剛

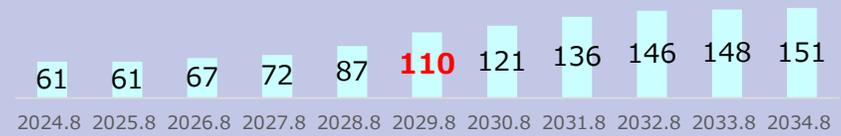
物流業界の課題解決に向けて挑戦・成長し続ける企業を目指す

物流2024年問題など物流の効率化・物流網の整備が大きな課題となっています。当社グループは100年以上物流業界に携わり、荷主及び運送会社といった取引先双方の利益向上を目指した事業運営を行ってきました。今後は拠点や輸配送網の集約、入出荷作業の自動化等により更なる効率化を進め、輸送距離の削減、輸送効率の向上を実現します。またco2削減など環境への配慮や、顧客・取引先の利益向上、さらには従業員への賃上げやスキルアップに向けた研修等の人材育成により、持続的な成長企業を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2029年8月期の売上高100億達成に向け、低温物流市場、国内3PL市場の成長を捉え、新拠点の建設や大型化、自動化による生産性向上等により実現を目指す。



課題

- ・ 当社倉庫のキャパシティ拡大に向けた拠点の新規開発
- ・ 機械化・システム化による省人化・生産性向上
- ・ 倉庫運営ノウハウを活かした新規サービスの展開
- ・ 投資回収期間の短い事業の展開による有利子負債比率の改善
- ・ 施設運営・営業人材の確保・強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ 市場環境の需要を捉え、適地に物流拠点を開発・運営
- ・ システム化・自動化による省人化、生産性向上を推進
- ・ 独立系3PLとしての営業力強化、共同輸送の推進
- ・ JR九州との協業による、物流拠点を開発
- ・ 三温度帯倉庫や自動化等のノウハウを活かした、不動産開発事業やオペレーション事業の全国展開

実施体制

- ・ JR九州との協業により、物流不動産の迅速な開発体制を構築
- ・ 中途採用等により開発部門を強化し、拠点開発を推進
- ・ 配置転換や研修の実施により、施設運営責任者の育成
- ・ 営業人材の確保・育成により、既存顧客への深耕営業力、独立系3PLとして新規取引先への提案型営業力を強化
- ・ 省人化や生産性向上に向けた取り組みの推進体制を構築
- ・ 女性管理職の増加を目指した、研修の実施や人員配置

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです